

授業科目	理学療法評価学 I				
担当者	今井公一（実務経験者）				
実務経験者の概要	今井公一（病院などの医療施設、介護保険施設などで診療及び臨床指導経験あり）				
学科名	理学療法学専攻	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 内 容

理学療法の対象者をどのような視点で理解すればよいのか、また対象者の生活像の理解と問題分析のためにどのような具体的な方法があるのか、代表的な内容を学習する。様々な領域（実務経験をふまえて）を踏まえた知識や技術の必要性について講義します。

■ 到達目標

1. 生活機能について説明できる 2. 理学療法評価の過程について説明できる 3. ADL とその評価について説明できる 4. 形態測定、関節可動域測定、筋力検査法、神経系の検査の概要について説明できる

■ 授業計画

- 第1回 生活機能と理学療法評価
- 第2回 理学療法プロセス
- 第3回 全体像把握
- 第4回 日常生活活動と評価
- 第5回 筋骨格系の評価 形態測定
- 第6回 筋骨格系の評価 形態測定
- 第7回 筋骨格系の評価 ROM 測定 (1)
- 第8回 筋骨格系の評価 ROM 測定 (2)
- 第9回 筋骨格系の評価 ROM 測定 (3)
- 第10回 筋骨格系の評価 筋力検査法 (1)
- 第11回 筋骨格系の評価 筋力検査法 (2)
- 第12回 筋骨格系の評価 筋力検査法 (3)
- 第13回 神経系障害の評価 神経系の検査 (1)
- 第14回 神経系障害の評価 神経系の検査 (2)
- 第15回 総括

■ 評価方法

提出物10% 単元毎筆記試験30% 科目試験(筆記試験)60% なお、小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

配布資料は時系列に整理しファイルしておいて下さい。必ず授業当日に一度は配布資料やテキストを見直し復習して下さい。単元毎の試験及び到達度試験を行います。

■ 教科書

書名：理学療法基礎評価学

著者名：臼田 滋 編

出版社：医歯薬出版

書名：リハビリテーション評価マニュアル

著者名：正門由久

出版社：医歯薬出版

書名：新・徒手筋力検査法

著者名：津山直一他訳

出版社：協同医書出版

■ 参考図書

書名：運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢／下肢・体幹

著者名：林 典雄

出版社：メジカルビュー社

書名：ROM ナビ (DVD)

著者名：青木主税 他

出版社：Round Flat

■ 留意事項

授業中の指示については必ず従ってください

■ 講義受講にあたって

骨解剖や筋の作用など、評価学を理解して行くためには必要となる事前知識があります。
必要に応じて復習し授業に臨んで下さい。